

苫小牧市地域女性活躍推進事業【北海道苫小牧市】

総事業費	11,472 千円
交付金額	8,604 千円

地域の実情と課題

本市における女性相談件数は令和3年度784件と前年比149%と増加しており、困難を抱えている女性に対する支援が必要な状況です。このことから、困難を抱えているより多くの女性の方の支援をつなげるため事業を実施しました。

目的・目標

本市で実施している女性相談だけでは拾いきれない相談があることから、NPO法人が持つコネクションを利用し、女性用品の提供及び居場所づくりから女性相談、適切な支援につなげます。
事業の全体目標：苫小牧市地域女性活躍推進事業における利用者数 1,000人

事業の特徴

日頃より市内コミュニティセンターの指定管理者として活動しているNPO法人が女性用品の提供と居場所づくりから女性相談、適切な支援につなげ、元気をなくしている女性を元気にして、女性活躍を推進していく事業です。

連携団体

特定非営利活動法人ワーカーズコープ

事業の効果

女性用品の提供7,392件、居場所づくりの参加者数406名、相談件数169件でした。居場所づくりの参加者や女性用品に貼付しているパンフレットから、相談、支援につながったケースがありました。また、悩みごとなどを話すだけでスッキリして満足したという声もありました。

今後の課題

現状の課題として、女性用品の提供数及び居場所づくりの参加者数に比べて、相談件数が少ないという課題があります。この課題を解決するためには、より相談しやすい環境をつくる必要があります。このことから今後はLINEなどのSNSを活用した相談の実施について検討していきます。

事業の概要

苫小牧市地域女性活躍推進事業

①女性用品の提供～7,392件

困難を抱える女性が当該事業を知り、相談につながるように、女性用品の提供を実施。

主な配布先:市役所、市民活動センター、小学校、中学校、高等学校、大学、児童センター、コミュニティセンター、フードバンク



②居場所づくり～参加者406名

困難を抱える女性のモヤモヤの解消や女性相談につながるきっかけになることを目的に実施。

主な実施内容:音楽療法、美味しいお茶会、リラックスヨガ、上映会など



③女性相談～相談件数169件

本人の健康問題、娘や息子などの家族の問題、夫等からのDV、自身の金銭問題、親の介護の問題等、多様な内容の相談がありました。傾聴だけ終わる場合や行政等への相談機関を紹介するなどの対応を行いました。